

**京都での着付け最大規模！毎年3日間で300人以上の浴衣着付けを行います
京都の着物専門店で7月14日～3日間で店舗面積を2倍にして祇園祭特別営業
～祇園祭の中心地に1000枚以上の浴衣を用意。着付けは無料で行います～**

関西で「さかの館」「京あるき」など、30店舗の着物の販売・レンタル店やフォトスタジオを運営する株式会社京織(本社：京都市中京区室町通四条上ル菊水鉾町582、代表取締役：田中元子)は2018年7月14日(土)～16日(月)の祇園祭前祭宵山の3日間、「さかの館 京都四条本店」(住所は同上)の店舗ビル前に特設スペースを設け、通常の2倍の店舗面積で祇園祭特別営業を行います。また、期間中は浴衣・帯・下駄の3点セットを販売し、ご購入者に着付けを無料サービスいたします。

■菊水鉾の目の前！毎年3日間で300人以上の浴衣着付けを行います

京都の夏の風物詩「祇園祭」。京都で着物販売を行う「さかの館」では、祇園祭前祭宵山の3日間京都四条本店の店舗ビル前に特設スペースを設け、浴衣、帯、下駄などの商品販売を行います。当場所は巡業を行う山鉾の1つである「菊水鉾」の目の前に位置しております。通常当店では通常浴衣の販売は行っておりませんが、期間中は1,000枚以上の浴衣と帯、下駄のセットを5,500円で販売いたします。限定商品の光る髪飾り(1,000円)も販売いたします。

購入いただいた浴衣は店舗内で無料着付けが可能ですので、「当日手ぶらで行っても浴衣を着て祇園祭に行ける」とご好評いただいております(浴衣持ち込みの場合3,000円)。毎年3日間で約300人の着付けを行っており、京都では最大規模です。そのほか、期間中は浴衣姿での記念撮影のスポットとして、店舗ビル内2Fの参加型フォトジェニックアート館「PAPEPO MUSEUM(パペポミュージアム)」(※2018年7月21日(土)オープン)を3日間限定でオープンいたします。当店で浴衣をご購入いただいた方は無料で利用可能です。

※価格はすべて税別



店舗は祇園祭ルートを中心、
菊水鉾の目の前に位置します



店舗ビル前に特設スペースを設けます

株式会社京織について

1900年(明治33年)に呉服商店として創業。代表の田中元子が「着物を着たいけどお金がない」という学生の悩みを聞いたことがきっかけで、1996年(平成8年)に着物レンタル事業を立ち上げました。現在では、振袖や袴レンタルだけでなく、着付けやヘアメイク、撮影までの関連するすべての事業を運営しています。2018年7月時点で、振袖・袴レンタル店15店舗(うちシーズン店5店舗)、観光着物レンタル店3店舗、婚礼衣装レンタル店2店舗、写真スタジオ4店舗を展開しております。

ぜひ貴社媒体でのご取材いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。ご取材の際の浴衣・帯・下駄および着付けはすべて無料で提供いたします。ご不明な点などございましたら、下記までご連絡下さいませ。

●取材に関するお問い合わせ先

株式会社京織 広報事務局 担当=八尾、和田

T E L : 06-4708-3766 Email:pr@raple.co.jp